

樹脂特性を分析し数値化

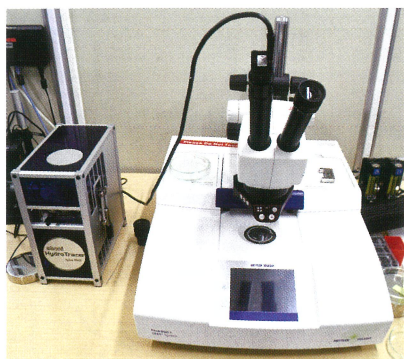
セイロジャパン（春日部市）

金型…プラスチック成形の製品・ 金型設計におけるシミュレーションの高精度化

春日部のオフィスで主に扱っているのは、C A E関連のサポート事業。C A Eとはコンピュータによるシミュレーションシステムで、特に立体的な製造物に対応している。

平成24年度のものづくり事業では、樹脂測定機として、メトラートリード（スイス）社製高速D S C測定機およびT Aインスツルメント（米）社製粘弾性測定機を導入した。プラスチック製品を大量生産する際には、物性のテストをす

ることが望ましい。樹脂にはさまざまな混ぜ物がされていることがあり、固まり具合などが均一ではないからだ。金型から希望通りの成形品（プラスチック商品）



平成24年度事業で導入した、熱分析する超高速D S C

がきちんと作れるかどうか、実際にやってみるまでわからないというのでは、ソリやバリなどの不良品、不具合品が多数発生してしまい、コストパフォーマンスも低下してしまう。

金型の設計段階で、樹脂の特性に合わせた設計をすることが望ましい。料理に例えば、魚、肉、野菜の素材特性を理解してそれに

あつた調理をするのがプロである。同様に金型メーカーは樹脂特性を数値化し、正確に理解して設計することが必要である。

従来は工業試験所などに依頼して分析してもらっていたものが、平成24年度事業で粘弾性測定機と超高速D S Cという機械を入れたことにより、分析が可能になった。

【株式会社セイロジャパン】

本社は千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟2階。関東営業所は春日部市谷原3-11-8マルヤビル3階。大嶋秀幸代表取締役社長。1982年に工作機械の輸入販売会社として創業。現在はC A D / C A M / C A E（コンピュータ）による設計、製造、シミュレーションシステム）関連機器の販売とサポート事業を行う。